



和田屯田被服庫の特別公開

8月13日から17日の日程で、和田屯田歴史保存会による和田屯田被服庫の特別公開が行われました。

西和田にある和田屯田被服庫は、明治18（1885）年頃に建てられたとされる建物です。当初は和田屯田兵本部の一部（被服庫）として機能し、その後、小学校の体育館として転用され、今日に至っています。120年以上が経っており札幌の時計台と同じ建築技法（バルーンフレーム構造）が用いられるなど、道内でも数少ない貴重な古建築として、北海道有形文化財に指定されています。

和田屯田兵は明治19（1886）年に220戸



▲和田屯田歴史保存会製作のPRチラシ

1,813人が入地し、この地方の開拓および練兵に従事し北方警備にあたっていました。和田屯田兵を率いた和田正苗は色丹島で農業指導を行うな



▲被服庫内部の展示の様子

ど、根室だけでなく北方四島の開拓の推進に一役買いました。

そうした郷土史の中でも重要な位置を占める和田屯田の歴史の顕彰が、和田屯田歴史保存会によって進められており、屯田資料の収集やチラシの製作、和田屯田被服庫の夏期特別公開などが行われています。今年には北構保男氏（松ヶ枝町在住）より、明治33（1900）年頃の和田屯田兵村の風景画（複製）が寄贈され展示されました。

郷土資料の収集や研究は個人の力ではなかなか難しいですが、多くの人が参画して行うとさまざまな視点やルートが生まれ、研究が進むことを保存会の活動は教えてくれます。

（学芸員 猪熊 樹人）

人の動き 平成20年8月1日現在

前年同月比	
人口	30,572人 (-431)
男	14,644人 (-197)
女	15,928人 (-234)
世帯	13,128世帯 (45)
7月の誕生	18人 (-2)

発行・印刷 根室市役所総務課・根室印刷(株)

■金刀比羅神社例大祭が終わると、もう秋の気配。仕事帰りに車のヘッドライトを点けているとき、夕暮れの訪れが早くなっていることに気がきます。■9月23日は秋分の日。日の出・日の入りが真東・真西になり、昼夜の長さが同じくなる日です。日ごと長くなる夜は、静かな時間を私たちに提供するようになっていく静かな時間です。秋の始まりです。

編集後記

「広報ねむろ」「根室市ホームページ」 広告を募集します(有料)

詳しい内容等につきましては、下記の問合せ先までご連絡ください。

問合せ先
「広報ねむろ」
根室市役所総務部総務課広報広聴担当 ☎(23)6111番 内線2213
「根室市ホームページ」
根室市役所総務部情報管理課情報管理担当 ☎(23)6111番 内線2340